

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	設定日(2004年6月30日)から2017年2月7日まで	
運用方針	ファミリーファンド方式により、わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株を主要な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	スーパーグロース小型株マザーファンドの受益証券(以下「マザーファンド」)を主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	・株式以外の資産への実質投資割合(マザーファンドの信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした割合を含みます。)は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。 ・マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回決算(毎年6月20日。休業日の場合は翌営業日。)を行い、分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は基準価額の水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。	

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

お問い合わせ窓口

BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

電話番号：0120-996-222

受付時間：毎営業日 午前10時～午後5時

<http://www.bnpparibas-ip.jp/>

運用報告書(全体版)

償還

第13期(償還日 2017年2月7日)

スーパーグロース小型株オープン

追加型投信／国内／株式

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

スーパーグロース小型株オープンは、2017年2月7日をもちまして償還いたしました。

ここに、謹んで運用状況と償還金をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			Russell/Nomura Small Cap TM インデックス		株 式 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
9期(2013年6月20日)	6,212	0	107.0	452.17	46.6	91.6	4,395
10期(2014年6月20日)	7,206	0	16.0	550.91	21.8	93.1	2,873
11期(2015年6月22日)	8,987	0	24.7	720.98	30.9	94.2	1,963
12期(2016年6月20日)	8,526	0	△ 5.1	626.69	△13.1	96.2	1,895
(償 還 時)	(償還価額)						
13期(2017年2月 7日)	8,980.75		5.3	747.57	19.3	—	1,221

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注3) Russell/Nomura Small CapTMインデックスは参考指数として併記しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。なお、Russell/Nomura Small CapTMインデックスは配当込みです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		Russell/Nomura Small Cap TM インデックス		株 式 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期 首)	円	%		%	%
2016年 6月20日	8,526	—	626.69	—	96.2
6月末	8,526	0.0	616.65	△ 1.6	95.4
7月末	8,196	△ 3.9	652.48	4.1	96.4
8月末	7,891	△ 7.4	631.59	0.8	95.8
9月末	8,579	0.6	653.32	4.3	96.4
10月末	9,131	7.1	691.86	10.4	96.3
11月末	9,490	11.3	718.32	14.6	96.4
12月末	8,996	5.5	748.17	19.4	—
2017年 1月末	8,984	5.4	750.51	19.8	—
(償 還 時)	(償還価額)				
2017年 2月 7日	8,980.75	5.3	747.57	19.3	—

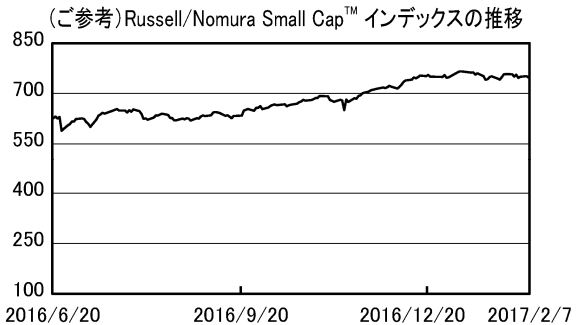
(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) Russell/Nomura Small CapTMインデックスは参考指数として併記しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。なお、Russell/Nomura Small CapTMインデックスは配当込みです。

■運用経過



(注1) 当ファンドにはベンチマークはございません。

(注2) 参考指数のRussell/Nomura Small Cap™ インデックスは配当込みです。

1. 基準価額等の推移について

2004年6月30日に設定された当ファンドは、2017年2月7日に償還を迎えました。償還価額は8,980円75銭となりました。信託期間を通じての騰落率は、10.2%の下落となりました。

なお、当期の騰落率は5.3%でした。

2. 基準価額の主な変動要因

当ファンドは設定以来、スーパーグロース小型株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を高位に組み入れることを通じて、実質的に国内株式市場の中小型株へ投資してまいりました。信託期間を通じて、基準価額は国内小型株式市場の影響を大きく受けました。

なお、当期は償還を控え株式の組入比率を引き下げたため、株式市場の動きによる影響は限定的でした。

3. 投資環境について(設定日(2004年6月30日)から償還日(2017年2月7日)まで)

当ファンドが設定された2004年の日本株式市場は原油高の進行や米国景気の減速懸念を背景に軟調に推移しましたが、2004年末からは出遅れ感のある日本株が注目され上昇基調に転じました。その後も規制緩和を背景に新たな事業機会が増加したことや、IPO(新規株式公開)も活況を呈したことなどから、ファンド設定来、小型株式市場に再評価の動きが広がりました。しかし、この流れは、2006年1月のライブドア事件を契機に大きく変化しました。新興株式市場の信認が低下したことに加え、規制緩和の反動で会計監査の保守化が進んだことも小型株式には影響を与えました。2008年にかけては、好調な世界経済や円安の進行などを背景に、輸出主導の大型株優位の展開が続いた一方で、国内依存度の高い小型株については過小評価が続きました。その後、2008年9月のリーマンショックや世界同時不況に続き、欧州債務危機や東北地方太平洋沖地震、タイの大洪水など、株式市場は全般的に様々な形での逆風を受けましたが、小型株は既に大型株に先行して調整していたことから影響は限定的で、2011年以降はむしろ見直す動きも見え始め、底堅い推移となりました。2012年末に誕生した安倍政権による積極的な経済政策や、デフレ脱却に向けた日銀の金融緩和策の効果に対する期待から株式市場は上昇に転じました。その後、一時的な調整局面もありましたが、円安の進行、日銀による追加金融緩和、企業業績とコーポレート・ガバナンスの改善などを背景に株式市場は上昇トレンドを維持しました。2015年8月の上海

株式市場の暴落が世界的な株価の下落を招き、原油価格の低迷や、景気減速懸念などを背景に市場のリスク回避姿勢が継続し、下落基調を辿りました。2016年6月に英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱派が勝利したことが急激な円高を招き、国内株式市場は一時大幅に下落しましたが、その後、円安進行、原油高、米大統領選でのトランプ候補の勝利、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げ決定などが好感され、堅調な市場環境の中で2017年2月7日の償還日を迎えました。

4. ポートフォリオについて(設定日(2004年6月30日)から償還日(2017年2月7日)まで)

当ファンドは、信託期間中マザーファンドを高位に組み入れて運用いたしました。マザーファンドにおいては、設定から償還まで、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社が投資助言を行い、原則として当該投資助言に基づいた運用を行いました。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社では、経営者に対する個別直接面談調査に基づいて次世代を拓く革新的な高成長企業を厳選する体制を継続してまいりました。革新的な高成長企業は経済情勢にかかわらずあらゆる領域(業種)に存在するため、業種配分や資産配分に捉われず銘柄選定を行いました。また、特定の企業に偏らないように約50社に分散したポートフォリオの構築を行ってまいりました。

5. 分配金について

収益分配方針に基づき、基準価額や市況動向等を勘案し、各決算期における分配金の支払いは見送らせていただきました。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、元本と同一の運用を行いました。

6. 償還について

当ファンドは、2017年2月7日をもって償還いたしました。
長らくのご愛顧を頂き、誠にありがとうございました。

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016/6/21～2017/2/7)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 102	% 1.167	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,724円です。
(投 信 会 社)	(61)	(0.700)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.412)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンド の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	13	0.144	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均 受益権口数
(株 式)	(13)	(0.144)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.014	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.014)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	116	1.325	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況 (2016年6月21日から2017年2月7日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
スーパーグロース小型株マザーファンド	149,628	150,000	1,943,847	2,147,817

(注) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2016年6月21日から2017年2月7日まで）

項 目	当 期	
	ベビーファンド	スーパーグロース小型株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	一千円	2,726,102千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	一千円	1,797,199千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	－	1.51

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2016年6月21日から2017年2月7日まで）

当期中に利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入れ資産の明細（2017年2月7日現在）

償還日現在、親投資信託の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)
	口 数
スーパーグロース小型株マザーファンド	千口 1,794,218

(注) 単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月7日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 1,227,309	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,227,309	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2017年2月7日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	1,227,309,223円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,227,309,223
(B) 負 債	5,658,520
未 払 解 約 金	2,234,700
未 払 信 託 報 酬	3,182,097
未 払 利 息	3,194
そ の 他 未 払 費 用	238,529
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,221,650,703
元 本	1,360,299,175
償 還 差 損 金	△ 138,648,472
(D) 受 益 権 総 口 数	1,360,299,175口
1万口当たり償還価額(C/D)	8,980円75銭

(注1) 期 首 元 本 額 2,222,763,626円
 期中追加設定元本額 411,211,683円
 期中一部解約元本額 1,273,676,134円
 1口当たり純資産額 0.8980円

(注2) 純資産総額が元本を下回っており、その差額は138,648,472円です。

■損益の状況

当期 自2016年6月21日 至2017年2月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 14,633円
支 払 利 息	△ 14,633
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	84,230,047
売 買 益	128,548,193
売 買 損	△ 44,318,146
(C) 信 託 報 酬 等	△ 20,320,958
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	63,894,456
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	102,423,009
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△304,965,937
(配 当 等 相 当 額)	(105,598,619)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△410,564,556)
償 還 差 損 金 (D + E + F)	△138,648,472

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2004年6月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年2月 7日		資産総額	1,227,309,223円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	5,658,520円
受益権口数	10,470,600,000口	1,360,299,175口	△9,110,300,825口	純資産総額	1,221,650,703円
				受益権口数	1,360,299,175口
元本額	10,470,600,000円	1,360,299,175円	△9,110,300,825円	1万口当たり償還金	8,980.75円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	14,130,240,000円	11,525,273,439円	8,156円	0円	0.0000%
第2期	8,484,840,000	7,218,169,005	8,507	0	0.0000
第3期	7,825,510,000	5,029,716,896	6,427	0	0.0000
第4期	5,427,410,000	2,137,075,020	3,938	0	0.0000
第5期	4,023,110,000	1,187,540,096	2,952	0	0.0000
第6期	3,088,200,000	878,364,603	2,844	0	0.0000
第7期	2,479,670,000	790,922,047	3,190	0	0.0000
第8期	1,993,350,000	598,243,071	3,001	0	0.0000
第9期	7,074,910,000	4,395,250,527	6,212	0	0.0000
第10期	3,987,805,880	2,873,488,137	7,206	0	0.0000
第11期	2,185,235,881	1,963,916,012	8,987	0	0.0000
第12期	2,222,763,626	1,895,231,062	8,526	0	0.0000

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金 8,980円75銭(税引前)

スーパーグロース小型株マザーファンド

運用報告書

償還

<第13期>

償還日 2017年2月6日

(計算期間 2016年6月21日～2017年2月6日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株を主要な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株を主要な投資対象とします。
組 入 制 限	・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資は行いません。 ・株式以外の資産への投資は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		Russell/Nomura Small Cap TM インデックス		株 式 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	%		%	%	百万円
9期(2013年6月20日)	7,273	109.5	452.17	46.6	95.3	4,223
10期(2014年6月20日)	8,541	17.4	550.91	21.8	95.4	2,804
11期(2015年6月22日)	10,827	26.8	720.98	30.9	96.2	1,922
12期(2016年6月20日)	10,440	△ 3.6	626.69	△13.1	97.3	1,873
(償 還 時)	(償還価額)					
13期(2017年2月 6日)	11,098.09	6.3	751.72	20.0	—	1,211

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) Russell/Nomura Small CapTMインデックスは参考指数として併記しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。なお、Russell/Nomura Small CapTMインデックスは配当込みです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

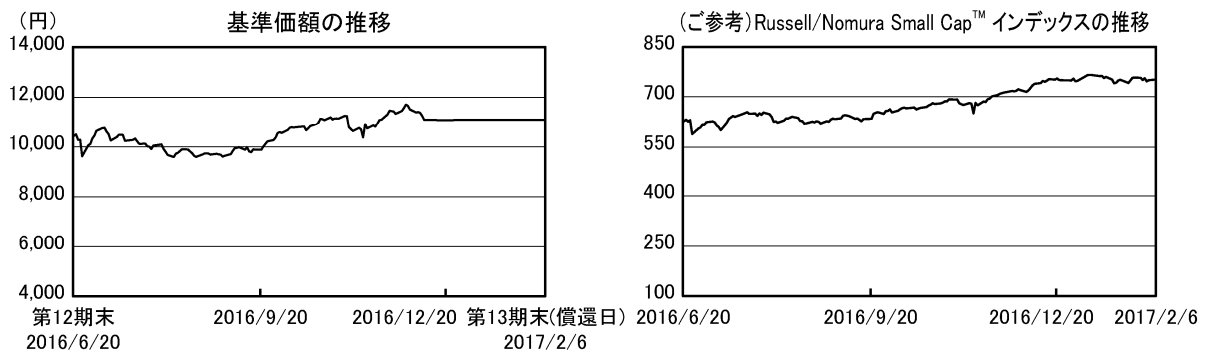
年 月 日	基 準 価 額		Russell/Nomura Small Cap TM インデックス		株 式 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期 首)	円	%		%	%
2016年 6月20日	10,440	—	626.69	—	97.3
6月末	10,443	0.0	616.65	△ 1.6	96.4
7月末	10,050	△ 3.7	652.48	4.1	97.4
8月末	9,688	△ 7.2	631.59	0.8	96.8
9月末	10,554	1.1	653.32	4.3	97.5
10月末	11,258	7.8	691.86	10.4	97.6
11月末	11,706	12.1	718.32	14.6	97.2
12月末	11,099	6.3	748.17	19.4	—
2017年 1月末	11,098	6.3	750.51	19.8	—
(償 還 時)	(償還価額)				
2017年 2月 6日	11,098.09	6.3	751.72	20.0	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) Russell/Nomura Small CapTMインデックスは参考指数として併記しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。なお、Russell/Nomura Small CapTMインデックスは配当込みです。

■当期の運用状況（2016年6月21日から2017年2月6日まで）



(注1) 当ファンドにはベンチマークはございません。

(注2) 参考指数のRussell/Nomura Small CapTM インデックスは配当込みです。

1. 基準価額の推移について

2017年2月6日の償還価額は11,098円9銭となり、当期は6.3%の上昇となりました。

2. 運用状況について

2～3頁の「3. 投資環境について」、3頁の「4. ポートフォリオについて」をご覧ください。

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016/6/21～2017/2/6)		
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 16	% 0.146	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均 受益権口数
(株 式)	(16)	(0.146)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	16	0.146	

(注1) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は10,737円です。

■売買及び取引の状況 (2016年6月21日から2017年2月6日まで)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株	千円	千株	千円
		242	392,020	1,833	2,334,082
		(228)	(－)		

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2016年6月21日から2017年2月6日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,726,102千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,797,199千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.51

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2016年6月21日から2017年2月6日まで）

当期中に利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入れ資産の明細（2017年2月6日現在）

償還日現在、有価証券の組み入れはありません。

国内株式
上場株式

銘 柄	期首(前期末)
	株 数
	千株
建設業	
ファーストコーポレーション	49
インベスターズクラウド	4.7
化学	
竹本容器	23
医薬品	
ミズホメディー	7
機械	
パンチ工業	50
ヤマシンフィルタ	62
精密機器	
CYBERDYNE	12.3
メニコン	9.5
その他製品	
スノーピーク	14
陸運業	
鴻池運輸	46
情報・通信業	
ヒト・コミュニケーションズ	29.5
エニグモ	49.2
モバイルクリエイト	75.4
メディアドゥ	22.1
ブイキューブ	27
みんなのウェディング	29
ディー・エル・イー	35
リアルワールド	5
SHIFT	39
マークラインズ	9
ショーケース・ティービー	4.6
デジタル・インフォメーション・テクノロジー	7.1
P R T I M E S	15
ラクス	16
オープンドア	1.7
ビジョン	20.4
アイドママーケティングコミュニケーション	27

銘 柄	期首(前期末)
	株 数
	千株
小売業	
マーケットエンタープライズ	30
シュッピン	40.6
サンワカンパニー	62.2
鳥貴族	19
綿半ホールディングス	20
ピクスタ	5.7
その他金融業	
あんしん保証	9.5
サービス業	
クックパッド	7
弁護士ドットコム	16
アトラ	47
インターワークス	51
K e e P e r 技研	19.9
日本スキー場開発	30.5
デザインワン・ジャパン	9.8
ジャパンマテリアル	20
ベクトル	19.8
サクセスホールディングス	28.3
N・フィールド	16
M&Aキャピタルパートナーズ	28
ライドオン・エクスプレス	30
アビスト	16
シグマクシス	57
ウィルグループ	46
土木管理総合試験所	38.8
エボラブルアジア	3.2
アトラエ	0.8
合 計	株 数 1,361
	銘 柄 数 53

■投資信託財産の構成

2017年2月6日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,211,820	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,211,820	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2017年2月6日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	1,211,820,947円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,211,820,947
(B) 負 債	3,154
未 払 利 息	3,154
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,211,817,793
元 本	1,091,916,063
償 還 差 益 金	119,901,730
(D) 受 益 権 総 口 数	1,091,916,063口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,098円09銭

(注1) 期 首 元 本 額 1,794,218,632円
 期中追加設定元本額 149,628,470円
 期中一部解約元本額 851,931,039円
 1口当たり純資産額 1.1098円

(注2) 元本の内訳
 スーパーグロース小型株オープン 1,091,916,063円

■損益の状況

当期 自2016年6月21日 至2017年2月6日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,239,328円
受 取 配 当 金	5,449,000
そ の 他 収 益 金	582
支 払 利 息	△ 210,254
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	119,334,368
売 買 益	280,618,848
売 買 損	△161,284,480
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	124,573,696
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	79,025,465
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	371,530
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 84,068,961
償 還 差 益 金 (C + D + E + F)	119,901,730

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。